



絵本紹介

—先生のおすすめ絵本—



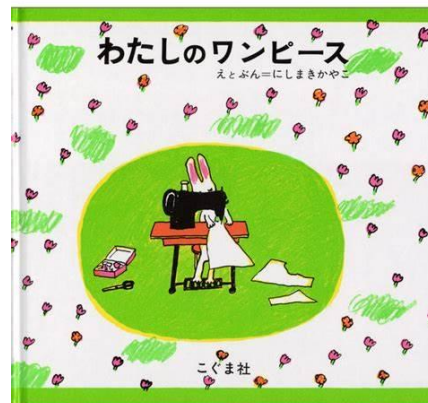
<斉藤 清美先生おすすめの絵本>

『わたしのワンピース』

作:西巻 芽子 出版社:こぐま社

まっしろな布きれがおちてきて、ワンピースをつくったうさぎさん。
おでかけするとワンピースの模様が花畑や雨、にじに！絵がとってもかわいくて色もきれいで、何度も読みたくなるかわいらしいお話と絵です。
子どものころに読んだことを覚えていてそのころから印象が強く、大人になってから読んでもやはりこんな世界があったらおもしろいなと思っています。

一度は手にとって読んであげたいお話です。



<鮫島 志織先生おすすめの絵本>

『いいこってどんなこ？』

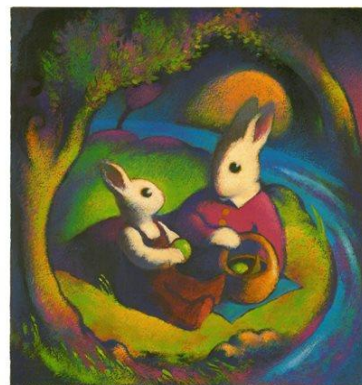
文:ジーン・モデシット 絵:ロビン・スポワード 訳:もき かずこ
出版社:富山房

うさぎのパニーがお母さんに「いい子ってどんな子？」と聞き、その質問に対して丁寧に答えるお母さん。怒っていても泣いていても“あなたがあなたらしくいるのが一番だよ”ということを話します。

心が温まるお話で、自分も我が子にそのように伝えたいと思い、絵本を読みながら伝えています。

とても素敵なお話です。

いいこってどんなこ？



ジーン・モデシット文 ロビン・スポワード絵 もき かずこ訳

<秦 渚先生おすすめの絵本>

『はらぺこあおむし』

作:エリック・カール 訳:もり ひさし 出版社:偕成社

日曜日の朝、生まれたちっぽけなあおむしはお腹がぺっこぺこ。

月曜日にはりんごを1つ、火曜日にはなしを2つ……。

たくさんたくさん食べて、ふとっちょになったあおむし。さなぎになって最後は美しいちょうちょにへんしんするお話です。

あおむしは食べても食べても空腹で、曜日ごとにテンポよく増えていく食べ物の種類や数にはびっくりです！最後、あおむしはお腹が痛くて泣いてしまいますが、蛹から美しい蝶になる過程がよくわかる素敵なお話です。

